

**検査所見**

シルマー

眼科的に Schirmer 試験, ローズ・ベンガル試験, 蛍光色素試験を行うことで涙液分泌障害が確認される。耳下腺造影で apple tree 像, 耳下腺シンチグラムで唾液分泌障害が確認される。血液所見では, 免疫グロブリン高値と血清アミラーゼ（唾液型）高値を認める。抗核抗体（80～90%）, リウマトイド因子（70%）, 抗 SS-A 抗体（50～70%）, 抗 SS-B 抗体（20～30%）などの自己抗体が出現する。本症では, 抗 SS-A 抗体は感度が高く, 抗 SS-B 抗体は疾患特異性が高いとされている。

診断・治療

厚生省診断基準を表 12.12 に示す。対症療法が中心で, 皮疹にはステロイド外用, 口腔乾燥にはアセチルコリン作動薬（ピロカルピンなど）が用いられる。うがいによる口腔内洗浄, 齲歯の治療を行い, 人工唾液, 人工涙液などを使用する。

6. 再発性多発軟骨炎 relapsing polychondritis ★

全身の軟骨組織に炎症が生じる特発性の疾患である。SLE や関節リウマチに関連して生じることがあり, 約半数でⅡ型コラーゲンに対する自己抗体が検出される。耳介軟骨および鼻軟骨が最も頻度が高く, 両側外耳や鼻が腫脹して強い疼痛を生じる（図 12.22）。他臓器の軟骨障害として関節炎, 眼症状, 気管狭窄, 弁膜症なども生じることがある。ステロイド内服が有効である。

図 12.22 再発性多発軟骨炎 (relapsing polychondritis)

12

D. 関節炎を主体とするリウマチ性疾患 rheumatic diseases whose main symptom is arthritis**1. 関節リウマチ rheumatoid arthritis ; RA ★****Essence**

- 多関節の疼痛および腫脹をきたす膠原病の一つ。
- リウマトイド結節と血管炎に伴う皮膚病変が特徴的。
- 関節滑膜の慢性炎症と滑膜増殖による関節軟骨と骨の破壊。

症状

皮膚症状としてはリウマトイド結節と, 血管炎（リウマチ性血管炎）に伴う下腿潰瘍などの皮膚病変が特徴的である（図 12.23）。リウマトイド結節は全患者の 20～25% にみられ, 大きさ 0.5～数 cm の無痛性の硬い皮下結節である。圧迫を受け

図 12.23① 関節リウマチ (rheumatoid arthritis) リウマトイド結節。